機電技術者意見交換会報告書 (第19回)

実施日: 2015年10月8日(木)~9日(金)

2015年11月30日

一般社団法人 日本建設機械施工協会 建設業部会 機電技術者交流企画WG

機電技術者意見交換会 挨拶

2015年10月8日

一般社団法人 日本建設機械施工協会 建設業部会 部会長 鈴木嘉昌

皆さんこんにちは

私、建設業部会長を仰せつかっております、西松建設の鈴木でございます。

本日より2日間かけて、23社から20~40才代の23名の建設業で働く土木、海洋土木、建築、道路など職種の垣根を越えた機電技術者に参加していただき、意見交換会が行われます。

本活動は、機電技術者同士の交流と育成を目指して、平成9年から開催され今回で19回目を 数えることになりました。

今年のテーマは「あなたは機電技術者として今何を頑張りますか 〜魅力ある建設業にするために〜」で、それについて意見交換を行っていただきたいと思っております

また、2日目は「陸前高田震災復興事業について」、「ロボットスーツHALの開発」についての最新の話題・技術の講義がございます。

建設業における機電職の立場は、土木、建築技術者と比べると人員も少なく、皆様も苦戦されていると思いますが、建設業を取り巻く環境では、巨大地震、火山の噴火や豪雨等の大規模災害への対応、建設生産システムにおける生産性向上のための情報化施工、無人化施工の拡大が求められている中、今後はより一層必要な技術であると思います。

昨年も、人員が少ないので技術の伝承がしにくい環境であるとか、建設業を希望して来る機電 の学生が少ないとか 皆さんと同じような意見が多かったと思います。

短い期間ではありますが、皆さんの意見が出やすいようにと、今回は交流の機会を多くするため班編成の回数を増やしたりと、実行委員の方も色々と考えておりますので、お互い情報交換を行い、ここで得た知識を会社に持ち帰っていただき、今後の皆様の活動に有効に使って頂きたいと思います。 2日間宜しくお願いいたします。

これをもちまして、私の挨拶と代えさせていただきます。

2015 年度建設業部会 機電技術者交流企画 WG 名簿

	役 名	氏 名	会社名	所属部署・役職
1	主査(三役副幹事)	相田 尚	(株)NIPPO	総合技術部機械センター生産機 械第1課長
2	委員	大友 信悦	清水建設(株)	土木技術本部 機械技術部 部長
3	委 員	田村 信幸	(株)奥村組	東日本支社 機械部長
4	委 員	立石 洋二	大成建設(株)	土木本部 機械部長
5	委員	傳田 喜八郎	前田道路(株)	製造事業本部 機械部 担当部長
6	委 員	落合 博幸	三井住友建設(株)	土木本部 土木技術部 次長 機電技術部長
7	委 員	久留島 匡繕	五洋建設(株)	土木本部 船舶機械部長
8	委員	高村 勝之進	大豊建設(株)	土木本部 土木部 機電課長
9	委 員	掛川 敏弘	鉄建建設(株)	土木本部 土木営業部
10	委員(三役副幹事)	渋谷 光男	(株)フジタ	建設本部土木エンジニアリング センター機械部 部長
11	事務局	岡田 和夫	(一社)日本建設機械施	業務部長
12	学 伤 问	松本 寛子	工協会	業務部 主任

一般社団法人 日本建設機械施工協会 建設業部会

第19回機電技術者意見交換会

<u></u>目 次

1. 第19回機電技術者意見交換会報告		1-3
2. グループ討議結果		4-8
3. アンケート集計結果		9-21
4. 資料		
(1) 意見交換会実施要領およびスケジ	ュール	22-25
(2) 参加者名簿		26-28
(3)実施状況写真		29-34
(4)新聞掲載記事		35-37

1. 第19回機電技術者意見交換会報告

(1) 背景

機電技術者意見交換会はこれまでに 18 回開催されているが、参加者から "同業他社との 交流が有意義だった" あるいは"他社の機電職員も同様の問題を抱えている"等の意見が多 く、それらを踏まえて時流にも沿ったテーマで実施してきた。

また、第 16 回目から建設業部会の中に機電技術者交流企画WGを立ち上げ、意見交換会の開催意義を再検討し、機電技術者のさらなる育成交流に資する活動として、討議テーマ、グループ編成、講演内容、PR 活動などの検討を行っている。

昨年開催された第 18 回目では、より多くの参加者が交流/意見交換が出来るように、一度 班割をシャッフルして討議を行った。

第19回目開催にあたって企画WGでは、昨年第18回の参加者アンケートをもとに

- ① より有意義な討議テーマ選定
- ② 講演会の内容
- ③ 成果発表方法の工夫
- ④ 自己プレゼン方法の改善
- ⑤ アンケート集計方法
- ⑥ 参加会社の拡大
- ⑦ 機電技術者の PR 方法

などについて重点的に討議を重ねた。

また、多くの機電技術者の参加を促すため、参加者募集に関しては、引き続き建設会社協会会員のグループ会社の社員も含めることとした。さらに継続学習制度(CPDS)の学習プログラムに登録し、単位取得の対象講習会とすることで参加しやすい環境を整えた。

(2) グループ討議

【討議テーマ】

「あなたは機電技術者として今何を頑張りますか 〜魅力ある建設業にするために〜」 というテーマのもとに、参加者23名を5班(土木系2班、建築系1班、道路系1班、建 築・海洋土木系1班)にグループ分けし、討議・検討を行った。

今回の討議は、工種別を基本としてグループ編成し班ごとに成果を発表することとした。 昨年度2日目に班メンバーをシャッフルして討議を行ったが、アンケート結果よりもっと 多くの参加者との意見交換を望む声が多かったことから、1日目1.5時間、2日目1時間と2 回のシャッフル時間を取り入れた。1回目のシャッフルは年代別、2回目のシャッフルは平均年齢別の班編成とした。

(3)講演

今回は、1 時間の枠を 2 分割し、1 つをビッグプロジェクト関係,もう 1 つを未来に向けた新技術で計画し、以下の講演を頂いた。

①演 題:「陸前高田震災復興事業について」

講演者 清水建設株式会社 陸前高田市震災復興事業

機電課長 小野澤 龍介 氏

内容は、東日本大震災の復興事業における機械設備の概要、課題と対応策等、非常にスケールが大きく分かり易い講演であった。また、機電技術者としての自身の経歴や考え方につ

いても紹介して頂き、参加者のアンケートをみても有意義な内容であった。

②演 題:「ロボットスーツ HAL の開発」

講演者: CYBERDYNE 株式会社 営業部門 マネージャー 前川 幸士 氏

講演では、会社の紹介や開発の経緯、HALの概要等説明頂き、実際に3着のHALを計9名に試着してもらい、実感して貰った。アンケート結果では、実際に装着できたことが良かったという意見もあり、好評であった。ただし、試着できなかった人は実感できなかったため、少なかったのではという意見もあった。

(4) 討議成果の発表

2日目の最後の時間にグループ討議の成果を各班の代表から発表してもらった。また、昨年に引き続き、参加者全員が発言するという企画WGの基本方針にもとづき、参加者一人ひとりに討議テーマや意見交換会に参加した感想を手短に発表してもらう時間を設けた。

(5) 講評者意見抜粋

テーマ討議の成果発表に、各社の機電社員とともに参加した上司である管理職の皆さんから全体を通した講評をもらっているのでその抜粋を以下に示す。

- ・ 建設業における機電職員として仕事のやりがいを見つけ、もっと自己アピールをして欲しい (能動的ではだめ) それが機電の立場を向上させ会社に貢献することになります。
- ・ 資格取得や技術伝承に努め自己研鑽することがスキルアップにつながります。
- 最近心の病にかかる人が増えています。ストレス解消には仕事だけでなく趣味をもつこと が一番です。
- ・ 今回の意見交換会で知りあった仲間を大事にし、会社を超えた横のつながりをもって欲しい。
- ・ 他社の機電職員も同じ悩みを持つことを知り、コミュニケーションを取る機会が大事であることを認識したと思います。グループ討議の成果は職場に持ち帰り上司に報告し、今後も 10 年後を見据え前向きに仕事にあたって欲しい
- ・ 今回の経験から将来は機電技術者の育成交流を企画する側になって欲しい。
- ・ 建設業界のネガティブな思考を変えていくには自分が何をしたらよいのか考えてみてく ださい。自分の仕事にプライドを持ち、自分が現場を仕切っているという自信と自身の技 術で利益に貢献しているというアピールが重要です。

また、特許や技術論文を情報発信して、技術開発で表彰されることを目標とすればやりがいや面白みにつながります。

・ 自社の商品や技術を好きになってもらいたい。楽しい仕事ばかりでないが自分がつくるも のの社会的意義や価値を考えると、人がわくわくする技術に挑戦する意欲につながります。

(6) まとめ

● アンケートの解析結果

意見交換会終了後、参加者に提出してもらったアンケートの集計と参加者の感想から、今回の意見交換会についての問題点をWGで洗い出し、検討を行った。

①テーマ、進め方、発表方法について

テーマについては、良かったという意見が多いが、漠然としているとか、次回のテーマをこう

すれば良いと具体的に提案する意見も多くあり、来年度の参考としたい。班編制については、メインの業種別の班編成では、各班の人数も良く業務内容が同じなので積極的な意見交換ができたという意見が多かった。またシャッフルした時の討議では、多くの人と意見交換できたことが新鮮で良かったという意見がある一方、同じ議題では意見が被ることが多いという声もあった。その他、シャッフルの都度自己紹介していては時間が惜しいという意見があることから、次回から自己紹介票を事前に配布することも検討したい。

発表については、古い機材の部屋となり、見づらいといった声が多かった。また、カメラに撮影し投影する方法については、撮影するタイミングが合わないこと、文字だけだと図や絵が使えない等、改善を要望する意見もあった。これらの改善について、WGで協議していきたい。

②参加者,場所,期間について

参加者については、適当・良かったが100%であった。場所、期間については概ね適当という答えであったが、やはり一部遠方からの参加者にとっては、きついという意見はあった。

③参加した感想

機電技術者意見交換会の開催意義についてであるが、アンケート結果では、参加者全員(100%)が参加して有意義であったという回答であり、また社内への展開についても91%の人が意見交換会の内容を社内展開したいという回答であった。また、業務への取り組み意識が変化したかという問いに対しては、39%が大いに変化、44%がどこか変わったと答えており、これらのことからも、今後も継続して意見交換会を開催することが必要である。

④講演会について

講演会については、2 つの講演に分けた試みであったが、2 つとも興味を引く内容で、参加者 74%から有意義、残り 26%がまあまあであったという回答が得られた。

⑤今回の意見交換会から得たもの

85%が人脈活用、情報交換という答えとなり、個々のレベルアップと答えたのは15%であった。 個々のレベルアップは昨年の26%に対し減っているが、個々人の捉え方であると思われる。

● 今年度の成果

全体の感想として、有意義であったという回答が 100%であった。昨年は 4%がまあまあと回答しており今回の参加者にとっては良い会であったと推察される。その要因を考察すると以下があげられる。

- ・討議時間を多くするような時間配分を計画した。
- ・シャッフルを2回にすることで、より多くの人との交流が図られた。
- ・講演に関して、プロジェクト系と未来系の中から、時代に沿ったテーマを選定できた。
- ・新聞掲載がある事で、参加者の士気が上がった。

業界紙への取材依頼は、次年度以降も継続して行うこととしたい。

● 次年度への課題

- ・部屋の確保の都合上、2 日目の昼に荷物を置く部屋がなかったため、来年は通しで確保するように努める。
- ・発表部屋の機材が古く、見づらい発表になった。できれば事前に確認し、古いようであれば 持ち込みも検討する。
- ・発表事の時間が分からないという意見もあり、時間計測とベルを復活させてはどうか。
- ・ホワイトボードの写真撮影のタイミングが合わないという意見や、写真や絵を使ったパワーポイントが良いという意見も多い。これについては、パワーポイントから写真に変えた経緯もあり、再検討が必要である。

2. グループ討議結果

	第19回機電技術者意見交換会 成果											
					作成日	2015	年	10月	19日			
班	1	記録者		㈱竹□	中工務店	小川	貴文	τ				
打合日	打合日 2015年10月8日~9日 場 所 国立オリンピック記念青少年総合センター											
出席者	株式会社竹中工務店 東急建設株式会社 株式会社大林組 大豊建設株式会社	箱崎 正 永嶋 充	美									
〈議事〉												
 ・現職機性と ・・対策 ・・対策 ・・対策 ・・対策 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	後まで機電職はチャンス!! 対が多く、技術提案がしやすい と加え職人も人材不足 と施工が求められる 機電系職員がいない とても、対応して機電の存在何 ストスーツ、施工ロボットを利 の機電系に女性が少ないので作り要望とメーカーとの架け橋と かとり時代へ と日制 学生に対して機電職主体の見等 とい職業とTOP10以内へ!!	面値をアピー 責極的に使見 青報系から打 となり、機管	用して貰 采用する	えるよう: 。		行く。						
【まとめ】		**	115-4	. ,								
◆ 各位か	バ活動し、業界全体での機電 駅	戦の地位を₋	上げて行	. < .								

第19回機電技術者意見交換会 成果

作成日 2015年10月20日

班	2班 (土木:シールド・トンネル・橋梁)	記録者	
打合日	2015年10月8日~9日	場所	国立オリンピック記念青少年総合センター
出席者	小林 悟 (鉄建建設) 塩塚 正吾 (鹿島建設) 森田 尚徳 (SMCテック) 中村 多聞 (フジタ) 牧野 大介 (安藤・間)		

〈議事〉

テーマ:あなたは機電技術者として今何を頑張りますか?~魅力ある建設業にするために~

【現状・課題】

- ・建設業の機電職の認知度が低い
- ・社内の専門組織が無い
- ・機電職員が少ない
- ・入っても辞める人が多い
- ・魅力を感じ始めるまで時間がかかる

【対策案・解決案】

- ・リクルート活動、求人募集
- ・電気、機械のセミナーに参加する
- ・辞めない人材に育てる
- ・機電職員育成を現場任せにしない
- ・機電職向けの現場見学会の実施

【魅力ある建設業にするために今自分が何をすべきか】

- ・自分が辞めない
- ・共有できる環境をつくる(機電会議等)
- ・辞めない教育や指導をする

【まとめ・結論】

- ・何事にも楽しくやろうという意識を持って仕事に取り組む
- ・機電職の楽しさをみんなに伝える
- ・建設業界全体の給料アップ

第19回機電技術者意見交換会 成果 作成日 27年 10月 22日 班 3 班 記録者 内場 弘毅 打合日 2015年10月8日~9日 場所 国立オリンピック記念青少年総合センター 清水建設㈱ 藤井 ㈱奥村組 池島 西松建設㈱ 内場 出席者 日本国土開発㈱ 水谷 ㈱鴻池組 内藤 テーマ「あなたは機電技術者として今何を頑張りますか?」~魅力ある建設業にするために~ 〈議事〉 ①現状 ・一般社会に機電職が浸透していない ・新入社員が少ない ・若手職員の退職者が多い ・将来役員になれない ②課題 ・アピール不足 ・我々が魅力を感じて仕事を行っているか? ・入社前の情報とギャップがある(仕事内容、労働時間) ・3 K がマイナスになっている(きつい、汚い、危険) ③対策 1. 全体としてできる事 ・会社単位ではなく業界全体でアピールする ・テレビ番組、CM等を使ってアピールする ・社内的地位を確立させる ・自動化、ソフト制御開発を進め幅広い層を入社させる 2. 個人でできる事 若手職員の育成 ・SNS等を使用して、コミュニケーションを図る(日本建設機械施工協会HP、ツイッター等) ・自分自身の日々の仕事を粛々と行う→役員になり社内体制を変える(機電職の地位向上) ・機電職主体とした現場見学会を行う ・早い段階で一人で現場を任せてもらえる(施工計画、現場運営) ④まとめ ・我々が率先して魅力を感じて積極的に情報発信する ・他社と機電職の技術の共有を図る(トラブル事例等) ・若手職員へよりきめ細かなコミュニケーションを図る

第19回機電技術者意見交換会 成果

作成日 2015年 10月 20日

班	4 班		4班 記録者 オリエンタル白石						
打合日	2015年	10月8日~9日	場所	国立オリンピック記念青少年総合センター					
	角俊幸	(五洋建設㈱ 本	社土木部門	土木本部 船舶機械部)					
山麻李	飯田北斗	(東洋建設㈱ 関東支店土木本部 新宿作業所)							
出席者	熊谷崇信	(東亜建設工業㈱ 土木事業本部機電部機電グループ)							
	福田淳二	(オリエンタル自	(オリエンタル白石㈱ 本社施工・技術本部技術部)						

〈議 事〉

テーマ「あなたは機電技術者として今何を頑張りますか?~魅力ある建設業にするために~」

【現状、課題 など】

☆建設業界のイメージが悪い

- $\cdot 3 K + \infty$ (きつい、きたない、きけん、くさい、くるしい…)
- ・人の不幸で儲けていると思われている
- 薄給、長時間労働、休日不定期
- ☆建設業界における機電職の存在を知られていない
 - →構造物等の成果品のみに人々の目が向けられている

作る過程で活躍する人、機械に目が向けられていない

- ☆各会社の機電職への理解不足
 - →土木・建築部門との乖離

【対策案、解決案 など】

☆イメージアップ

- … C M (メディア)、ゆるキャラ (キデンくん)、建設機電の日 (K K-D A Y)
- →機電職に対して親しみを持ってもらう
- ☆機電職、機電設備に特化したイベント(東京ドーム、ビックサイト、SSA)
 - →企業同士が融合した、機電部門としてのアピール
- ☆「機電職」のネーミングを変える
- ex) バリスタ、CA、マイスター、ソムリエ、MR
- ☆社内の機電職の必要性
 - →会社として設備保有を訴える

機械、設備があれば、機電職の必要性が増える

【~魅力ある建設業にするために~今自分が何をすべきか など】

- ☆機電職としての知識・技術の更なる研鑽
- ☆社内へのアピール (認知度、理解の向上)
- ☆団体、協会、リクルート活動への参加、関与
- ☆各会社の機電職同士の交流

【まとめ、結論 など】

- ○建設業界における機電職の地位向上を図り、その必要性を社会(+社内)に植え付ける
- ○時代に即した、機電技術の開発および水平展開を継続していく

第19回機電技術者意見交換会 成果 作成日 平成27年10月26日 班 5 記録者 大成ロテック㈱ 越村 聡介 打合日 2015年10月8日~9日 場所 国立オリンピック記念青少年総合センター 及川 巧 (株)NIPPO 前田道路㈱ 十部 和也 出席者 鹿島道路㈱ 新満 伊織 大林道路㈱ 末田 修嗣 大成ロテック㈱ 越村 聡介 〈議事〉 ≪現状≫ ○ 人手不足である ○ 女性職員が少ない \circ まとまった休暇が取れない ○ 3 K (きつい・汚い・危険)のイメージ ○ 炎天下の作業が多い ≪対策案≫ ○ イメージアップを図る ○ 実車体験の実施 (建設機械を学校等の施設へ持ち込み実施) 〇 機械の無人化 業界全体による休暇取得の取組み ○ 雇用形態の細分化(女性が専門で担当する業務) ○ フレックスタイムの活用 ≪今何をすべきか?≫ ○ 職場環境の改善 ○ 動画サイト等を利用した機電職員業務のアピール 新技術の採用 (CIM等) 0 協会主催によるCM・広告の掲載 ○ 社内報等により機電職員の貢献度を積極的に発信する ○ 新人教育に注力する ≪まとめ≫ 子供たちに夢を!! 未知なる道に機電者あり 現在の業務を見つめ直し、その魅力を再認識すると共に、未来につながる新技術の開発、 および安全な作業環境を構築し、後世に継承する。 『俺達の後ろに道はできる!!』

3.アンケートの集計結果

第19回 機電技術者意見交換会 アンケート集計

開催日:2015年10月8日(木) · 9日(金)

主 催 者:一般社団法人 日本建設機械施工協会

開催場所:独立行政法人 国立青少年教育振興機構

国立オリンピック記念青少年総合センター

テーマ:『あなたは機電技術者として今何を頑張りますか

~魅力ある建設業にするために~』

参加人数: 23名

講 演:『陸前高田震災復興事業について』

講師: 清水建設株式会社 土木事業本部 土木技術本部 機械技術部

小野澤 龍介 様

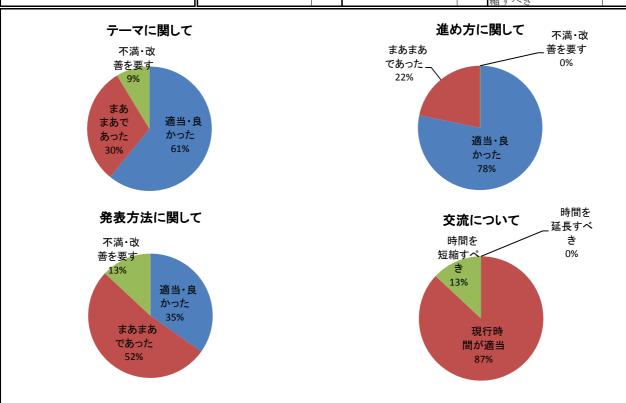
講 演:『ロボットスーツHALの開発』

講 師: CYBERDYNE株式会社 営業部門 マネージャー

前川 幸士 様

1. テーマ、進め方、発表方法について

集計表						
(1)テーマに関して	適当・良かった	14	まあまあであった	7	不満・改善を要す	2
(2)進め方に関して	適当・良かった	18	まあまあであった	5	不満・改善を要す	0
(3)発表方法に関して (パワーポイントの使用廃止含め)	適当・良かった	8	まあまあであった	12	不満・改善を要す	3
(4)他の班あるいはメンバー変更による 交流について (二日目AM)	現行より時間 を延長すべき	0	現行時間が適当である	20	討議内容が浅くなるの で、現行より時間を短 縮すべき	3



次回討議したいテーマ

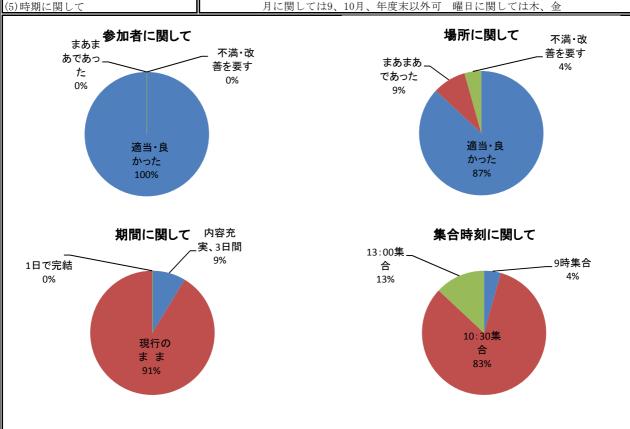
- ・機電技術の継承について
- ・あなたは『今』何の仕事に力を入れて取り組んでいますか?今後、どのようにして定年まで頑張って行きたいですか?
- ・機電職の未来~10・20年後建築業界が大きく変わった時機電職は何ができるか~
- ※事前に参考資料配布 例:スマートコンストラクション (コマツ) 宇宙EV (当社) 深海未来都市構想 (清水建設)
- ・次回参加するのであれば、機電社員の個々の業務の中で(魅力ある建設業にするために)を討議できれば良いと思う。
- ・省力化、省人化など未来の機械施工について
- ・現状でいいと思います。テーマが壮大すぎる感もありますが、そのテーマに沿って色々な話ができたので。
- ・建設業界における工事用新型機械の紹介や改良点など
- ・今回と同じテーマが良いと思います。
- ・機電技術者をどのようにアピールしていくか?
- ・機電職とはなんなのか?また、何を求められている部署なのか。
- ・部下への教育方法等
- ・機電技術者として、建設工事以外にどのような場で力を発揮することができるのか
- ・今回一番悩んだ「機電職員の魅力について」が良いのではと思います。
- ・機電職員が参入すべき仕事・分野
- ・魅力ある建設業というテーマに対して、誰を対象にするのか明確にしたほうがいいのではないか。
- ・抽象的でかつ他力本願的な意見ではなく、自分がこうしていくべき、こうありたいと思う自己啓発的なテーマにしたほうがいいと思う。
- ・機電職の魅力って何だろう?また、その魅力のアピールの仕方
- ・~ 想像は実現できる!!近未来への技術革新 ~

その他自由意見

- ・発表の会場が広かったというのもありますが、プロジェクターでの写真が若干見えづらくて残念でした。
- ・シャッフルにより、20~40代と他業種などより多くの人と意見交換ができ良かった。
- ・テーマが良くも悪くも広いので、話のとっかかりを作る中心的な人物次第で討議の進む速度、方向性が決まってしまうと感じました。討議のネタになる資料的なものがあると良いと感じました。現状は昨年度の内容が参考資料になってしまうので、去年とにたような内容になってしまっていると思います。
- ・せっかくシャッフルを行っても同じ議題では意見が被ることが多く、討議がいき詰まることがあったので、世代別や年代平均では別の簡単な討議テーマがあると良いと思った。
- ・白板の写真を撮るタイミングが班毎で異なると思うので、できれば1班に1台のカメラを準備していただけると助かります。
- ・パワーポイントを使用しての発表はいいと思いますが、もっとパワーポイントの機能を使えるようにしたほうがいいと思います。現在は写真を投影することのみですが、パ<mark>ワーポイントで議事録を作成して発表する</mark>。各班に1台ずつPCが必要になりますが、プレゼン的要素も出てくるし、各班のカラーも出しやすくなるのではないでしょうか。
- ・デジタルカメラで撮影し投影する発表方法は、文章が見づらく説明だけでは、内容が把握しづらいと思う。
- ・事務局からの説明が大雑把過ぎる気がします。
- ・意見交換ですが、夕方の懇親会で、半分くらいの方と話しました。もう少し時間がとれれば良かったと思っております。
- ・会場の機器が悪く、見づらかった。
- ・今回のテーマは少し抽象的だったかと思います。
- ・発表時に写真では見づらかった。時間的には厳しいがパワーポイントの方が発表しやすく、見やすいと思う。
- ・短時間の討論にしてはテーマが漠然としすぎだと思います。パワーポイント等の使用は良いと思うが写真が見づらいのが残 念でした。持ち時間があったが時間確認ができるものがなかった。
- ・発表方法も良かったと思う。
- ・ホワイトボードだと文字ばかりになりがちなので、図や絵などを使ったほうが聞いてる人はイメージがしやすいのではない かと思う。
- ・発表時の写真がかなり見づらかった。黒板を撮影ではなく、用紙を撮影でもいいのではないかと感じた。自己紹介資料を配布すればよいと思う。 (経歴・業務・資格・趣味等)
- ・テーマが漠然としていて、個々の今おかれている現状を把握するのみに終わってしまっていた。特に不満や愚痴などが多く 飛び交っていたかなと。建設業界全体での取り組みとそれを社内に反映させるという意味では良い刺激にもなりました。シャッフル数は妥当であり、年齢別の意見も聞くことができ刺激になりました。
- ・発表方法について、プロジェクターで投影したホワイトボードの写真が見づらかった。
- ・夢を現実にするための一歩を踏み出すきっかけになると良い。

2. 参加者、場所、期間について

集計表						
(1)参加者に関して	適当・良かった	23	まあまあであった	0	不満・改善を要す	0
(2)場所に関して	適当・良かった	20	まあまあであった	2	不満・改善を要す	1
(3) 期間に関して	内容充実を図り、 3日間とすべき	2	現行のままとする	21	1日とし、宿泊をなく すべき	0
(4)集合時刻に関して	9:00集合が望ましい (前々回のの時間)	1	10:30集合 (前回からの設定)	19	13:00集合が望ましい	3
(5) 時期に関して	月に関して	こは9、	10月、年度末以外可 時	醒日に	関しては木、金	



あなたが参加するにあたって業務上支障になったことはありますか

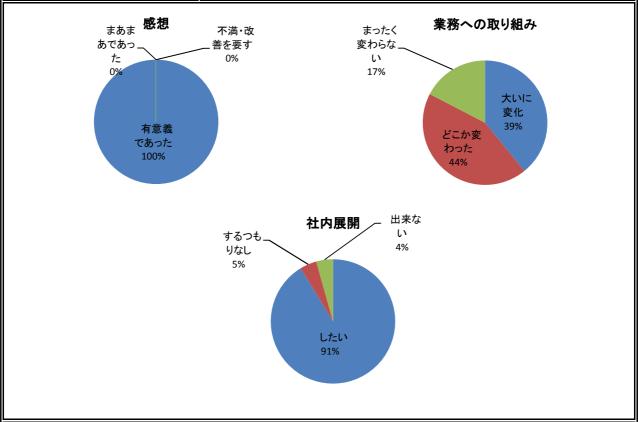
- ・前もって予定が決まっていたので、特段支障はありませんでした。
- ・日程調整がきく部署に所属しているので、特に支障はありませんでした。
- ・現場移動等で業務が忙しかったのでパワーポイントでの自己紹介資料作成が支障になった。
- ・2日間業務を空けると、帰社した時には、かなりの仕事量が増えていた。
- 特にありませんでした。
- ・特になし。上司の理解が得られ、前もって調整していただいたから
- ・私はセンター(店内)勤務なので周りがフォローがあり特に支障はありませんでした。
- ・仕事の工程を調整し、仕事が残ったとしても、同僚・先輩に引き継いだりした。
- ・早めの通知であったため、業務への支障は特にありませんでした。
- ・今回は調整がスムーズに行えた。この時期は社内・外の各種研修も重なりやすいことから早めの周知をお願いしたい。
- ・事前に研修日が分かっていたので、調整もでき特に業務に支障になることはありませんでした。
- ・余裕を持って連絡をいただいていたので、社内で十分調整可能なため、支障はありません。

その他自由意見

- ・グループのシャッフルが2回あり、年代や業種の違う方と比較的多く意見交換することができたので良かったと思います。
- ・初日の開始時間が遅かったと思います。ただし、時間を早める場合地方参加者が前泊しなければならないのでその方次第だと 思います。
- ・自己紹介資料のひな形をもう少し早くいただければよかったと思う。
- ・地方から参加されていた方も多かったので、現状でいいと思います。
- ・遠方の方で業務上、前泊できない場合を考えると1日目を午後にした方が良いかもしれない。
- ・討論開始後、議論に入るまで時間がかかったので、もう少し、集まってからの進行の仕方を最初のオリエンテーションで伝え てほしかった。
- ・遠い場所からの参加だと遅いスタートが望ましいです。
- ・ほどよい時間設定だったと思う。
- ・時期は問題ないと思いますが、期間を3日間にしてみるのはどうでしょうか。やはり、今のスケジュールだと討議、シャッフルのどちらも中途半端になっているような気がしました。
- ・機電職が活躍する現場見学も合わせて行えたらより充実するかと思う。現場とわせて研修も地方開催でもいいのでは。
- ・時期的には現行同様で、かつ木、金の開催でよかったと思います。同業他社の機電職員の業務内容や取り組み方など似ている ところはほとんどであるが、細かな部分での違いなどもありそういった点では夜の部などではさらに意見交換する場面も増え よかったと思います。

3. 参加して

集計表						
(1) 感想	有意義であった	23	まあまあであった	0	不満・改善を要す	0
(2)この会の参加前後で、業務への取り 組み意識は変化しましたか	大いに変化した	9	実感はないが、どこか 変わった	10	まったく変わらない	4
(3)この会で得たことを社内で展開しますか	したい	21	するつもりはない	1	できない	1

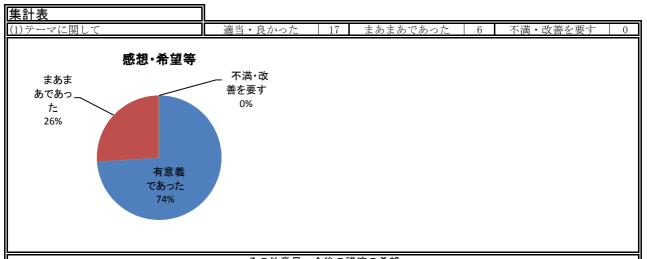


参加しての感想・その他意見

- ・同業他社の方と意見交換することができ非常に有意義な時間となりました。感じていること、悩みなど似ている部分が多々あり、環境は違えど置かれている状況は近いのだと安心した面がありますまた、今後の情報交換などをできるネットワークも広がったのでこの出会いを大切にしていきたいと思います。
- ・今回、他業種の方が思っていること、普段話が聞けないことなど意見交換ができ、有意義だったと思う。参加後、取組意識は変わらないが刺激・参考にはなったと思う。
- ・他社の業務内容や、普段自分が触れていない業務の知識の話は刺激になりました。セップ船の話や圧気下では金属腐食の進行 が早いことなど。
- ・同じ機電という立場だが、土木・建築・道路等様々な業種があり、その方々から日々の業務内容等を伺うことは私自身の刺激 になりました。
- ・社外の機電職と意見を交わすことがないので他社の現状やその人の考え方や現状を知れたんで有意義であった。業務への取組 意識は私個人では変化はないと思っているが何かのタイミングで思い出すと思う。
- ・人手不足・人材不足と言われる中で、建設業の魅力や技術を伝えていくことの大切さを再確認しました。
- ・2日間ありがとうございました。こういった他社の機電職の方と話をする機会を与えていただき感謝いたします。同じ機電職でも建築・土木、開発寄り、現場寄り、と千差万別で色々な意見や考え方が聞けて良かったです。こういった会社の垣根を越えた会議は若手・中堅にはいい刺激になりました。
- ・会社内で意見交換会における各社抱えている問題点と当社の問題点がほぼ合致していること、これに対する対策に幾つかの案を自分で考えたことについて、報告した。また、自分を自己研鑽することで、建設業に魅力を持ってもらえる一助になれることを新たに考え直し、今後の糧にしたいと思う。
- ・人脈を広げる良い機会だと思います。普段は接する頃がない方達ばかりでしたので、とても有意義でした。
- 非常によかった。
- ・感想に付いては、他社の機電部門の方と話をすることにより日々仕事上で考えている事、また、思っている事を聞くことが出来たため。業務への取り組み意識については、とにかく現場を進める事が優先されるため、特に変化は見られないと思っている。社内展開については、身近な人に話をしている程度である。
- ・他社の方々と討議する中で会社毎の考え方等を知る事ができ大変参考になりました。
- ・討論(オン)、懇親(オフ)、両方の場で話をすることができ大変有意義だった。
- ・正直行く前はあまり期待していなかったが、他社の現状やいろいろな意見が聞けてとても有意義な時間をすごすことができた と思います。また自分の意見を言葉にして発言することにより自分自身の思いを再確認できました。
- ・ディスカッションも盛り上がり、有意義な時間を過ごした。

- ・職種だけでなく、5年目、10年目、15年目など、経験年数が違う方たちが集まるので、いろいろな視点からの話を聞くことができたと思う。もう少し20代がいればいいかなと思いました。
- ・普段の業務では他社の機電職と交流する機会がないので有意義であった。
- ・会社の垣根を越えた良い意見交換をすることが出来たのと同時に、幅広い人脈や仲間意識ができたのではと思う。
- ・とてもいい刺激を頂き、このままじゃダメだなと感じた為。
- ・同世代の他社の機電職員と意見が交換出来て刺激的でした。意見交換する事で自分に今後必要な事を再認識することが出来た。また、社内に戻り上司と他社の取り組みなどを報告した。
- ・同業他社と交流でき、良い刺激を受けることができた。
- ・他業種との交流により型にはめた考え方をリセットすることができた。自分の経験値 $+\alpha$ の自由な発想につながると実感している。
- ・同業社の方々と現状についての話が色々と聞けて、非常に有意義であった。テーマに関してはなかなか即時には結果の出ない 内容であるため、実感はないが、今後の新たな目標を立てることができました。

4. 講演会について



- その他意見、今後の講演の希望
- 新技術、最新機械等の紹介
- ・新技術、最新機械を使用した施工事例や施工結果報告
- ・今回と同様機電職の苦労話しや実演講演が希望
- ・新しい技術の講演が日常業務のヒントにもつながるので良いと思います。

例:ドローンによる土量測定の現状 BIM・CIMの現状 ICT管理技術の現状 自動・半自動運転技術の現状

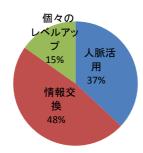
- ・HALのような今後現場で活躍する機械等の開発を行っている方の講演を聞きたい。
- ロボットや珍しい機械について
- ・復興事業の講演については、トラブル事例と対策を知ることができ、良い機会となりました。
- ・大変勉強になりました。
- ・建設業界も新たに躍進していることで、仕事の環境が変わっていることを感じた。
- ・講演時間がもう少し長くても良いと思う。機電関係以外の講演も面白いと思います(医療、航空、宇宙、考古学etc・・・)
- ・講演会のみでも、来年も参加したい。
- ・特殊な施工環境下での大規模な工事実績は聞いていて面白いと思うし、いいアイディアが多くためになる。
- ・他社の施工実績を聴くことは非常に勉強になった。
- ・有意義ではあったが今回のHAL講演会は実演ありきだと思うのでもう少し数を段取りしてもらってみんなで実演した方がよかったのではと思います。
- ・新技術棟あり、興味深いものだった。
- ・とても良かったと思います。やはり、何か体験できるということは非常に良いと思います。
- ・時代に沿った先端技術や新技術など知り得ない技術をもっと取り込んで頂きたい
- ・最新の技術紹介などもっと知りたい。
- ・実務の参考になりとても良い。

5. 今回の意見交換会から得たもの

集計表

どのように活用できると思いますか 人脈活用 17 情報交換 22 個々のレベルアップ 7

活用について



今回の意見交換会から得たもの・その他意見

- ・建設業において、機電職は決して不要ではなく重要なポジションであると再認識することができました。
- ・今回、知り合った方々とは定期的に連絡を取り合い情報交換などして行きたいと思う。
- ・お互い話せる話とそうでない話もありますが、交流を持っていきたいと思います。
- ・今回知り合えた方々と何らかの形でつながって行ければと思います。
- ・意見交換会を終えて、グループ内での感想をメールでやり取りすることで会社の隔たりとは関係なく、人との繋がりを得る ことができた。また、これを広げて行けるよう、自分が何をすべきか考えるきっかけとなった。
- ・左に書いた項目(どのように活用できると思いますか)、全て考え直し、得ることができたと思う。継続できればと思う。
- ・今後も交流できればと思う
- ・同じ班のメンバーとは、これからもお付き合いできたらと思う。
- ・同年代がほとんどいなかったので、共感する話はできなかったが、同業他社の情報を得ることができて、とても有意義であったと思う。
- ・懇親会や二次会などでより親交が深められたと思います。
- 交流を深めていきたい。

6. その他意見

- ・メインのグループは、同業種のグループで良いと思います。シャッフルしたグループでの討議もいろいろな方と意見交換できてよいと思いますが、その都度自己紹介が発生したので、事前資料で各人の経歴書などがあれば時間短縮に繋がり、討議時間がもう少し取れたのではないかと思います。
- ・今回、同様分野別が良いと思う。メイン班は同業種同士良かったです。意見交換内容など議論ができるため、分野をシャフルしてしまうと意見が纏まらなくなる。
- ・分野分け、シャッフルグループの分け方共によかったと思います。シャッフルグループでは発表が無かったぶん、気軽に色 々な話ができました。
- ・私は、これまで建築を主として業務を行っていましたが、先月土木現場へ配属になったため、土木の方との交流をもっとしたかった。
- ・他分野の機電職員の話を聞くのは新鮮でしたが、まとめは同じ分野の人のほうがまとまりやすいと思いました。
- シャッフルをすることで、色々な方と話ができました。
- ・土木分野同士のディスカッションは、とても興味を引く内容もあったので、意見交換としては成立したものとなりました。 また、お互いどのような悩みがあるのか、「うちでは、ここはこうしてるよ」など意見を聞くことにより前向きな考え方に 捉えることができました。
- ・異業種間の交流は必要なことと感じました。参加者同士の顔と名前が一致しなくなるので、討論メンバー(メイン、シャッフル)の自己紹介PDFを配布していただきたい。
- ・分野別だったので、意見はまとめやすかった。懇親会等で他分野と交流を深められればよい。
- ・各々が日々行っている仕事別でグループを組み、討議することでテーマとは多少脱線しつつもより良い話をすることが出来 た。年代別、平均で分かれても「そっちの方ではそうなんだ」という反応しかできなかった。よって、会話の充実度からい けば職種別討議が一番良かったと思える。
- ・同じ分野の方々とは同じような意見が多いので、分野は多ければ多いほど色んな意見が聞けて良いかと思います。
- ・建設業以外にも、建機メーカー、リース業といった他業種の方と話をする機会があればいいと思う。
- ・グループ枠に関してはメイン分野別、シャッフル年齢とも良かったと思います。別途に若手見学会があると聞きましたが、できれば中堅(理解度がある)対象及び分野別にて見学会を開いてほしいです。(突っ込んだ話ができる見学会)
- ・分野別で良いと思います。同じ分野だからこその共通認識があり、一体感を得られやすいと思います。
- ・研修を2泊3日にして、班毎の懇親会、シャッフル班の懇親会とそれぞれやってみるのはどうでしょうか。
- ・発表は同分野のグループ分けで良いと思います。二次会懇親会会場を探すのが大変であった。事前に会場を確保されていれば助かる。(二次会も特にグループ分けする必要がないのでは?)
- ・同業種による意見交換が行えたことにより、発表内容もスムーズに纏めることが出来たと思う。また、シャッフルにより同年代の方とも意見交換できたことは大きかった。会社によっては立場の違いなどもあるが、どのような立ち位置でどのような目線で仕事に取り組まれているかなど気になる部分でもあり、色んな観点からの意見なども多数あり刺激を受けた。また、持論ですがCMによる宣伝活動として協会等が主催となり会員会社と出資しあって作成する。内容は各会社が最先端技術開発や取り組みなどをコマ送りとして展開し、建設業界は機械との融合がなければ成し遂げれない、そのために我々は活躍・応援しています、といったフレーズで最後に「日本建設機械施工協会」とするのもいいかと思います。時間帯は、日曜夜18:00~21:00間の清水建設やSRGタカミヤなどのCM時を狙うのもありかと。(この時間帯は見る番組が固執しているかな)
- ・分野が違う機電社員の方々の意見や考えを聞くことが出来、視野が広がりとても有意義な研修会になったと思います。ただ業務内容があまりに違うので話が噛み合わない事も多々ありました。そういう事もありましたので、業種別の機電意見交換会もまた別途あれば、さらに有意義な討議が出来たのではないかと考えました。
- ・今回様々な建設業の方と意見が交換できたが同業種の意見交換が特に有意義で印象深かった。
- ・同世代別(シャッフル)グループ討議時、現状の仕事の内容について話を進めたので、あまり発言できなかった。
- 各種建機メーカーの方も入れて頂きたい。
- ・同業他社とは稀に同じ現場で働く場合もありますが、ゆっくり討議する時間(雑談を含めた)はないため、今回のように分野別にグループを組んで頂き、色々な話を聞くことができ、非常に有意義な時間を持てました。業種が違う班編成より、今回のような編成の方が話しも合い、結束力は強いと感じました。

※ 10年後の自分へのメッセージ

- ・機電職の良さ・強みを伝え、より良い物をこの世に残せ!!
- ▶・現在の業務に携わる人たちに「お前は欠かせない存在だ」と言われていますか? 今の私も早くなれるように頑張ります!
- ・何事にも楽しくやろうという意識を持って仕事に取り組んでいますか。
- ・自己研鑽することで機電職の魅力の伝え方をいろんな面で執り行うことで、優秀人材の育成や確保することで希少職種から 会社の核たる職種へ繋げ、自分の技術伝承と会社発展に寄与したい。
- ・H27年の自分は将来の不安があった。でも、機電として、土木も勉強し、所長を目指し頑張っている。10年後の私へ⇒機電職をアピールすることをしていますか?志ある仕事をしてほしい。
- ・10年後・・・あなたは機電職員ですか?
- ・10年前(現在)の自分が未熟だったと思えるようになっていれば
- ・十年後は退職にカウントダウンしている立場なので控えさせて頂きます。
- ・新しいことに挑戦しているかどうか。
- ・10年後の2025年には、機電職が今の倍以上になるようこれから頑張っていきたいと思う。また、個人的には、機電職のプロフェッショナルになれるよう頑張る。
- ・業種に関係なく、皆から慕われるような技術者になってください。
- ・結婚はしていますか?幸せですか?これから色々な業務に携わる事となるでしょうが、自分なら上手く出来ていると思いますので現状に満足せず頑張って下さい!! 「俺の後ろに道は出来る!」
- ・先頭を走ってますか?後ろは付いて来てますか?

第19回機電技術者意見交換会 アンケート H27年10月8日・9日

≥計名		氏名
₽ 4T 2A	•	H 24

テーマ、進め方、発表方法について(言	該当する網掛けに〇を入れてくださ	, \ ₀)				次回討議したいテーマは? ・ その他・意見
(1)テーマに関して	適当・良かった	まあまあであった		不満・改善を要する	次回討議し	t_
(2)進め方に関して	適当・良かった	まあまあであった		不満・改善を要する	いテーマ	
(3)発表方法に関して (パワーポイントの使用廃止を含め)	適当・良かった	まあまあであった		不満・改善を要する	その他	
(4)他の班・メンバー変更による交 流について(2回シャッフル)	現行より時間を延長すべき	現行時間が適当である		討議内容が浅くなるので、 現行より時間を短縮すべき	自由意見	
加者、場所、期間について(該当す	る網掛けに〇を入れてください。)					参加に当たって生じた調整事項 ・その他・意見
(1)参加者に関して	適当・良かった	まあまあであった		不満・改善を要する	あなたが参	
(2)場所に関して	適当・良かった	まあまあであった		不満・改善を要する	するにあたっ 業務上支障 なったことは	IC
(3)期間に関して	内容充実を図り、3日間と すべき	現行のままとする		一日とし、宿泊をなくすべき	りますか	83
(4)集合時刻に関して	9:00集合が望ましい (前回までの時間)	10:30集合 (今回設定の時間)		13:00集合が望ましい	その他	
(5)時期に関して		_	月 曜日		自由意見	
<u> </u> 	てください。)		1 -			左記評価を選択した理由 ・ その他・意見
(1)感想	有意義であった	まあまあであった		不満・改善を要する		
(2)この会の参加前後で、業務への取組意識は変化しましたか	大いに変化した	実感はないが、どこか変わった。		まったく変わらない		
(3)この会で得たことを社内で展開しますか	したい	するつもりはない		できない		
舞演会について(該当する網掛けにC)を入れてください。)					その他・意見、今後の講演の希望等
感想・希望等	有意義であった	まあまあであった		不満・改善を要する		
テロの意見交換会から得たものを(複	夏数回答可)(該当する網掛けに○を	·入れてください。)				その他・意見
どのように活用できると思います か	人脈活用	情報交換		個々のレベルアップ		
	L		ご記入ぐ	<u> </u> (ださい)		
	任意)					

テーマ、進め方、発表方法について(該当する網掛けに〇を入れてくナ	ごさい。)					計
(1)テーマに関して	適当・良かった	14	まあまあであった	7	不満・改善を要する	2	2
(2)進め方に関して	適当・良かった	18	まあまあであった	5	不満・改善を要する	0	2
(3)発表方法に関して (パワーポイントの使用廃止を含め)	適当・良かった	8	まあまあであった	12	不満・改善を要する	3	
(4)他の班・メンバー変更による交流について(2回シャッフル)	現行より時間を延長すべき	0	現行時間が適当である	20	討議内容が浅くなるので、 現行より時間を短縮すべき	3	1
参加者、場所、期間について(該当す	る網掛けに〇を入れてください。)					<u>.</u>
(1)参加者に関して	適当・良かった	23	まあまあであった	0	不満・改善を要する	0	2
(2)場所に関して	適当・良かった	20	まあまあであった	2	不満・改善を要する	1	1 :
(3)期間に関して	内容充実を図り、3日間と すべき	2	現行のままとする	21	一日とし、宿泊をなくすべき	0	
(4)集合時刻に関して	9:00集合が望ましい (前回までの時間)	1	10:30集合 (今回設定の時間)	19	13:00集合が望ましい	3	
(5)時期に関して				月			1
(の) 時期に関じて				曜日			<u>]</u>
参加して(該当する網掛けに〇を入れ	てください。)						<u> </u>
(1)感想	有意義であった	23	まあまあであった	0	不満・改善を要する	0	:
(2)この会の参加前後で、業務への取組意識は変化しましたか	大いに変化した	9	実感はないが、どこか変 わった。	10	まったく変わらない	4] :
(3)この会で得たことを社内で展開しますか	したい	21	するつもりはない	1	できない	1	
講演会について(該当する網掛けにC)を入れてください。)]
感想·希望等	有意義であった	17	まあまあであった	6	不満・改善を要する	0] ;
今回の意見交換会から得たものを(複							-
どのように活用できると思います	人脈活用	17	情報交換	22	個々のレベルアップ	7] .
か							

4. 資料 (1) 意見交換会実施要領およびスケジュール

平成 27 年 9 月 24 日

各位

一般社団法人日本建設機械施工協会 建設業部会 部会長 鈴木嘉昌

第19回 機電技術者意見交換会および講演会のご案内

標記意見交換会および講演会を下記の要領により開催致します。 ご多忙の折、参加者を選出し、期日までにお申し込み頂きますようお願い申し上げます。

記

1) 開催趣旨、実施要領(詳細は、参加申込者に別途送付します)

開催日 : 10月8日(木)~10月9日(金)

計 議 : テーマ「あなたは機電技術者として今何を頑張りますか?

~魅力ある建設業にするために~」

場 所 : 国立オリンピック記念青少年総合センター

参加資格: 従来は、会員会社のみでしたが、昨年から会員会社のグループ会社職員で

あっても、施工経験が主体であれば参加可能としました。 ※グループ企業への案内は、各社御担当からお願いします。

参加費 : 会 員:18,000円

非会員:20,000円 (宿泊・食事代含む)

協会会員会社と非会員会社で参加費は異なります。 当日、協会発行領収書と引換に徴収させて頂きます。

2) 講演会

演 題 : 『陸前高田震災復興事業について』

: 小野澤 龍介 様 (清水建設㈱土木事業本部土木技術本部機械技術部所属)

演 題 :『ロボットスーツHALの開発』

:前川 幸士 様(CYBERDYNE株式会社 営業部門 マネージャー) 講 師

3) 意見交換会参加者の選出基準

機電技術者(概ね30歳~40歳前後)

4) 参加者の自己アピールシート

参加者には、自己アピールシートを作成して頂き、当日はこれにより自己紹介をして 頂きます。自己アピールシートは、パワーポイントによる作成とします。作成要領等は、 後日(受付締切後に)担当幹事より参加者宛に配信します。

概略は以下のような内容(構成)での作成となりますが、発表時間は一人3分で、時 間厳守としますので、この時間に見合うように作成して下さい。

- ① 氏名、所属会社、略歷等
- ② 現在の仕事
- ③ 自己アピール (仕事以外で)
- ④ テーマに関連した事項で話したいこと

1

自己アピールシートは、申込受付次第、事務局からファイルをメールでお送りいたします。

5) 概略スケジュール (案)

10:30~11:00 参加者受付

11:00~11:30 オリエンテーション

 $12:30\sim13:45$ 自己紹介(自己アピールシートにより 1 人/ 3 分)

14:00~15:30 発表基礎グループ別討議 Ver.1

15:30~17:00 シャッフルグループ討議 Ver.1 (1時間半だけメンバーをシ

ャッフル)

17:30~19:00 全体懇親会

19:00~グループ別懇親会

[2月目]

 $8:30\sim10:00$ グループ討議 Ver.2(1時間半だけメンバーをシャッフル) $10:00\sim12:00$ 発表基礎グループ別討議 Ver.1 & 討議成果のまとめ

13:00~14:00 講演会(2講演)

14:15~16:50 討議成果発表会 & 講評

16:50~17:00 閉会

6) その他

一昨年から、二日目の成果発表時までにパワーポイントに纏める方法から、各部屋の 黒板なりホワイトボードに討議経過・結果を書いていただき、1日目終了時と二日目 終了時にその写真を撮り、討議結果はその写真を使って発表して頂くよう変更になり ました。

また後日、第19回機電技術者意見交換会の報告書用に、グループ報告書のテンプレートを写真と共に送付するのでメンバー内で纏めて報告書として提出して頂きます。

※本研修のCPDSは11unitになります。

7) 過去の開催実績等

昨年度までの「機電技術者意見交換会」開催実績は、一般社団法人日本建設機械施工協会のホームページ (http://www.jcmanet.or.jp/?page id=117) で閲覧できます。

事務局 一般社団法人日本建設機械施工協会

業務部 松本

E-mail: matsumoto@jcmanet.or.jp

TEL : 03-3433-1501 FAX : 03-3432-0289 Mobile : 090-2438-1210

第19回機電技術者意見交換会 参加申込書

※参加者の情報を、下記の欄にご記入の上、事務局宛ご返信下さい。 申込〆切:9月2日(水)

氏 名 ^(*)						
生年月日 (※)	昭和 4	年	月	日		
年 齢 (*)						
会社名 ^(*)						
所属部署 ^(*)						
主たる職歴 ^(*) (2~3例)						
住 所 ^(*)	(〒 −)					
電 話(※)			FAX (**)			
E-mail (**)						
入社年 ^(*)	昭和/平成	年入	.社 勤	続	年	
CPDS		必	要 •	不要		
その他の意見						

matsumoto@jcmanet.or.jp

2015年 第19回機電技術者意見交換会スケジュール表

第1日(10月8日 木曜日)	場所	時刻	第2日(10月9日 金曜日)	場所
			(7:00から営業)	
		8:00	朝食:レストラン「ふじ」	
				センター棟
			委員・事務局集合待機場所(~12:00)	510号室
			8:30~10:00	シャッフル <mark>②1班</mark> :小研3A号室
		9:00	- ∙シャッフルグループ討議	シャッフル <mark>②2班</mark> :小研4A号室
			(シャッフルver2:全世代平均年齢)	シャッフル23班:507号室
			 グループ内コミュニケーション	シャッフル24班:508号室
			777 7711111	シャッフル25班:509号室
		10:00	10:00~12:00	
			10.00-12.00	Andrew Arrest Comp
10:30~11:00(全員)	センター棟		発表グループ討議(班別ver1:工種毎)	発表1班 :小研3A号室
参加者受付(受付、参加費集金)	402号室		プロのナレム 発生進出	発表2班 :小研4A号室
11:00~11:30 (全員)	402号至	11:00	成果のまとめ、発表準備	発表3班 : 507号室 発表4班 : 508号室
オリエンテーション(趣旨説明、班編成等)				光表5班:500号室
				元权以 加.303万至
┃ 昼食:レストラン「ふじ」		12:00		
並及:レバリン・3.0 3		12:00	(11:30から営業)	全員移動
12:30~13:45 (全員)			昼食:レストラン「ふじ」	13(13.33)
	▼ センター棟			
参加者自己紹介 (自己アピールシートを使用して)	402号室	13:00		1
3分/人×25名=75分		10.00		センター棟
			13:00~14:00 講演(30min*2)(全員)	417号室
			①『ロボットスーツHALの開発』(サイバーダイン) ②『陸前高田震災復興事業』(清水建設)	
	センター棟	14:00		
14:00~15:30	発表1班 :412号室			
発表グループ討議(班別ver1:工種毎)	発表2班 :413号室		14:15~16:50 (全員)	
光衣グルーク討議(近別Veri:工煙母)	発表3班 :507号室		グループ討議成果発表会	
グループ内コミュニケーション	発表4班 :508号室	15:00	プループ的磁风未光衣云	
	発表5班 : 509号室		グループ発表・質疑応答	
			(班発表10分+個人発表2分/人 +質疑5分)/班	
15:30~17:00	シャッフル①1班:412号室		持ち時間 : 25分/班	
 シャッフルグループ討議	シャッフル①2班:413号室	16:00		
(シャッフルver1:同世代)	シャッフル①3班:507号室			
/	シャッフル①4班:508号室		10.5017.00	∥
グループ内コミュニケーション	シャッフル①5班:509号室 ■		16:50~17:00 全体討議、講評	
17:00~17:30	1	17:00		
17:00~17:30	宿泊D棟		解散	
17:30~19:00 (全員) ※5分前に集合				
	♣ ★	18:00		
カルチャー棟 2F	カルチャー棟2F レストラン「とき」	10:00		
レストラン「とき」(30~35名) 参加者より乾杯				
参加者より記杯 ※参加者のコメント等				
司会:●●副幹事長		19:00		
グループ別懇親会へ		10.00		
, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,		l		

第19回機電技術者意見交換会参加申込者(メイン・発表グループ)工種別

			汉附省总元人沃安多加。		- ``	12 元秋/ル / /工性別		
No	班	氏 名	所 属	年齢	勤務 年数	E-mail	平均 年齢	宿泊室
1		箱崎 正美	東急建設株式会社 土木本部 機械技術部 機電グ ループ	36		hakozaki.masami@tokyu-cnst.co.jp		
2	1	小川 貴文	株式会社 竹中工務店 技術研究所 新生産システム部門	37	19年	ogawa.takafumi@takenaka.co.jp	32.5	
3	'	永嶋 充	㈱大林組 東京機械工場 技術開 発支援課	31	7年	nagashima.mitsuru@obayashi.co.jp	32.3	
4		林 孝作	大豊建設株式会社 東京支店 土木部 機電課	26	3年	Ko-hayashi@daiho.jp		
5		牧野 大介	株式会社 安藤·間 土木事業本部 機電部	29	5年	makino.daisuke@ad-hzm.co.jp		
6		中村 多聞	株式会社フジタ 東京支店 土木工事部 松戸幹線 作業所	27	5年	tamon.nakamura@fujita.co.jp		
7	2	森田 尚徳	SMCテック株式会社 土木機械部 嵐山工場	36	14年	hmorita@smctech.co.jp	34.6	
8		塩塚 正吾	鹿島建設㈱ 来秋部技術2グルー プ	39	20年	shiotuka@kajima.com		
9		小林 悟	鉄建建設㈱札幌支店 昆布トンネル作業所	42	23年	s-kobayashi@tekken.co.jp		
10		藤井 曉也	清水建設株式会社 土木事業本部土木技術本部機械 技術部	37 15年 <u>f-takaya@shimz.co.jp</u>	f-takaya@shimz.co.jp			
11		池島 智明	株式会社 奥村組 東日本支社 土木第2工事部 東 電柏崎工事所	29	7年	tomoaki.ikeshima@okumuragumi.jp		
12	3	内場 弘毅	西松建設株式会社 関東土木支社	32	12年	kouki utiba@nishimatsu.co.jp	33.6	
13		水谷 慎吾	日本国土開発㈱ 土木本部 機電 部 機電グループ	26	4年	shingo.mizutani@n-kokudo.co.jp		
14		内藤 尚樹	(株)鴻池組 大阪本店 岸和田機材 流通センター技術課	44	22年	naitoh nk@konoike.co.jp		
15		角俊幸	五洋建設株式会社 本社 土木部門 土木本部 船舶 機械部	31	5年	Toshiyuki.Sumi@mail.penta-ocean.co.jp		
16	4	飯田 北斗	東洋建設㈱ 関東支店土木本部 新宿作業所	24	1年	iida-hokuto@toyo-const.co.jp	32.8	
17		熊谷 崇信	東亜建設工業株式会社 土木事業 本部機電部機械グループ	36	11年	Ta kumagai@toa=const.co.jp	-	
18		福田淳二	オリエンタル白石(株)本社施工・技術部 技術部	40	20年	junji.fukuda1@orsc.co.jp		
19		新満 伊織	鹿島道路株式会社 機械センター・ 重機指導課	24	2年	shinmi@kajimaroad.co.jp		
20		十部 和也	前田道路株式会社 東京営業所	35	14年	m3907@maedaroad.co.jp		
21	5	末田 修嗣	大林道路㈱ 機械センター 機械課	26	4年	shuji-sueda@obayashi-road.co.jp	31.8	
22		及川 巧	㈱NIPPO 北信越支店 工事部	39	21年	oikawa takumi@nippo-c.jp		
23		越村 聡介	大成ロテック 事業統括本部 機械部	35	10年	sousuke koshimura@taiseirotec.co.jp		
		-	·			★ 現在の4.のです		

※年齢は8月末現在のものです

第19回機電技術者意見交換会参加申込者(シャッフル②)世代単位

No	班	氏 名	所 属	年齢	勤務 年数	E-mail	平均 年齢	宿泊室
1		新満 伊織	鹿島道路株式会社 機械センター・ 重機指導課	24	2年	shinmi@kajimaroad.co.jp		
2		角 俊幸	五洋建設株式会社 本社 土木部門 土木本部 船舶機 械部	31	5年	Toshiyuki.Sumi@mail.penta-ocean.co.jp		
3	1	水谷(慎吾	日本国土開発㈱ 土木本部 機電 部 機電グループ	26	4年	shingo.mizutani@n-kokudo.co.jp	27.2	
4		牧野 大介	株式会社 安藤·間 土木事業本部 機電部	29	5年	makino.daisuke@ad-hzm.co.jp		
5		林 孝作	大豊建設株式会社 東京支店 土 木部 機電課	26	3年	Ko-hayashi@daiho.jp		
6		末田 修嗣	大林道路㈱ 機械センター 機械課	26	4年	shuji-sueda@obayashi-road.co.jp		
7		飯田 北斗	東洋建設㈱ 関東支店土木本部 新宿作業所	24	1年	iida-hokuto@toyo-const.co.jp	27.4	
8	2	池島 智明	株式会社 奥村組 東日本支社 土木第2工事部 東電 柏崎工事所	29	7年	tomoaki.ikeshima@okumuragumi.jp		
9		中村 多聞	株式会社フジタ 東京支店 土木工事部 松戸幹線 作業所	27	5年	tamon.nakamura@fujita.co.jp		
10		永嶋 充	㈱大林組 東京機械工場 技術開 発支援課	31	7年	nagashima.mitsuru@obayashi.co.jp		
11		十部 和也	前田道路株式会社 東京営業所	35	14年	m3907@maedaroad.co.jp	34.8	
12	3	内場 弘毅	西松建設株式会社 関東土木支社	32	12年	kouki_utiba@nishimatsu.co.jp		
13	5	森田 尚徳	SMCテック株式会社 土木機械部 嵐山工場	36	14年	hmorita@smctech.co.jp		
14		箱崎 正美	東急建設株式会社 土木本部 機械技術部 機電グ ループ	36	13年	hakozaki.masami@tokyu=cnst.co.jp		
15		越村 聡介	大成ロテック 事業統括本部 機械 部	35	10年	sousuke koshimura@taiseirotec.co.jp		
16	4	熊谷 崇信	東亜建設工業株式会社 土木事業 本部機電部機械グループ	36	11年	Ta_kumagai@toa-const.co.jp	36.8	
17	•	藤井 曉也	清水建設株式会社 土木事業本部土木技術本部機械技 術部	37	15年	f-takaya@shimz.co.ip	00.0	
18		塩塚 正吾	鹿島建設㈱ 来秋部技術2グループ	39	20年	shiotuka@kajima.com		
19		及川 巧	㈱NIPPO 北信越支店 工事部	39	21年	oikawa_takumi@nippo-c.jp		
20		福田淳二	オリエンタル白石㈱本社施工・技術部 技術部	40	20年	junji.fukuda1@orsc.co.jp		
21	5	内藤 尚樹	(株)鴻池組 大阪本店 岸和田機材 流通センター技術課	44	22年	naitoh_nk@konoike.co.jp	40.4	
22		小林 悟	鉄建建設㈱札幌支店 昆布トンネル 作業所	42	23年	s-kobayashi@tekken.co.jp		
			株式会社 竹中工務店			ogawa.takafumi@takenaka.co.jp		

※年齢は8月末現在のものです

第19回機電技術者意見交換会参加申込者(シャッフル③)平均年齢

No	班	氏 名	所 属	年齢	勤務 年数	E-mail	平均 年齢	宿泊室
1		新満 伊織	鹿島道路株式会社 機械センター・ 重機指導課	24		shinmi@kajimaroad.co.jp	一個川	
2		熊谷 崇信	東亜建設工業株式会社 土木事業 本部機電部機械グループ	36	11年	Ta_kumagai@toa-const.co.jp		
3	1	内場 弘毅	西松建設株式会社 関東土木支社	32	12年	kouki utiba@nishimatsu.co.jp	33.0	
4		小林 悟	鉄建建設㈱札幌支店 昆布トンネル 作業所	42	23年	s-kobayashi@tekken.co.jp		
5		永嶋 充	㈱大林組 東京機械工場 技術開 発支援課	31	7年	nagashima.mitsuru@obayashi.co.jp		
6		十部 和也	前田道路株式会社 東京営業所	35	14年	m3907@maedaroad.co.jp		
7		角 俊幸	五洋建設株式会社 本社 土木部門 土木本部 船舶機 械部	31	5年	Toshiyuki.Sumi@mail.penta-ocean.co.jp		
8	2	内藤 尚樹	(株)鴻池組 大阪本店 岸和田機材 流通センター技術課	44	22年	naitoh_nk@konoike.co.jp	32.6	
9		中村 多聞	株式会社フジタ 東京支店 土木工事部 松戸幹線 作業所	27	5年	tamon.nakamura@fujita.co.jp		
10		林 孝作	大豊建設株式会社 東京支店 土木部 機電課	26	3年	Ko-hayashi@daiho.jp		
11		末田 修嗣	大林道路㈱ 機械センター 機械課	26	4年	shuji-sueda@obayashi-road.co.jp		
12		福田淳二	オリエンタル白石㈱本社施工・技術部 技術部	40	20年	junji.fukuda1@orsc.co.jp		
13	3	池島 智明	株式会社 奥村組 東日本支社 土木第2工事部 東電 柏崎工事所	29	7年	tomoaki.ikeshima@okumuragumi.jp	34.0	
14		塩塚 正吾	鹿島建設㈱ 来秋部技術2グループ	39	20年	shiotuka@kajima.com		
15		箱崎 正美	東急建設株式会社 土木本部 機械技術部 機電グ ループ	36	13年	hakozaki.masami@tokyu=cnst.co.jp		
16		及川 巧	㈱NIPPO 北信越支店 工事部	39	21年	oikawa_takumi@nippo-c,jp		
17	4	飯田 北斗	東洋建設㈱ 関東支店土木本部 新宿作業所	24	1年	iida-hokuto@toyo-const.co.jp	32.3	
18	'	藤井 曉也	清水建設株式会社 土木事業本部土木技術本部機械技 術部	37	15年	f-takaya@shimz.co.jp	02.0	
19		牧野 大介	株式会社 安藤·間 土木事業本部 機電部	29	5年	makino.daisuke@ad-hzm.co.jp		
20		越村 聡介	大成ロテック 事業統括本部 機械部	35	10年	sousuke_koshimura@taiseirotec.co.jp		
21	5	水谷 慎吾	日本国土開発㈱ 土木本部 機電 部 機電グループ	26	4年	shingo.mizutani@n-kokudo.co.jp	33.5	
22	J	森田 尚徳	SMCテック株式会社 土木機械部 嵐山工場	36	14年	hmorita@smctech.co.jp	33.3	
23		小川 貴文	株式会社 竹中工務店 技術研究所 新生産システム部門	37	19年	ogawa.takafumi@takenaka.co.jp		

※年齢は8月末現在のものです

(3) 実施状況写真

①開会挨拶(部会長)、オリエンテーション





②自己紹介





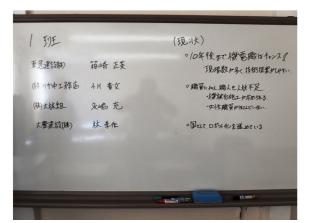
③全体写真

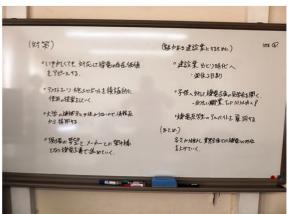


④グループ討議

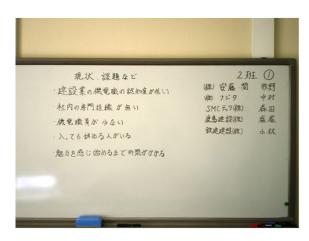


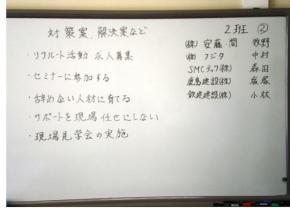




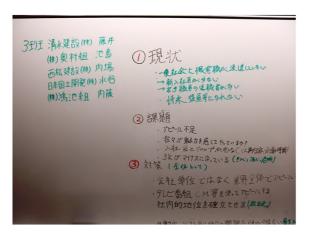


1班 白板撮影



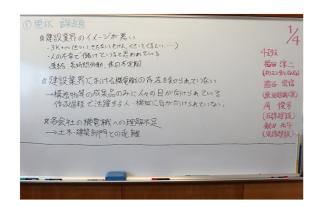


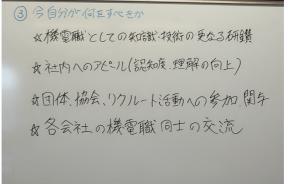
2班 白板撮影



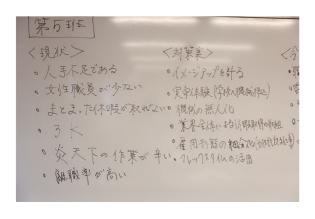
```
ありたは残を見れるして
今何をかんはりますです。
一般力ある走後気におかから
一般力ある走後気におかから
一般力ある走後気におかから
一般力ある走後気におかから
一般力ある走後気におかから
一般力を対した。コミューケー治ンを図る。
日報設然就後は時景がグッター 等
・自分自身の日々の仕事を 粛々と 行う
一分段員に知 社内体制を変える (機能の必位内上)
・機電職による現場 是学会を行う。 早い段階で一人で現場を任せても5天3 (施工計画、現場 運営)
・・現るが本先して魅力を感じて積極的に発信する。・・他社と機電職の技術の共有を図る (トラアル事例等)
```

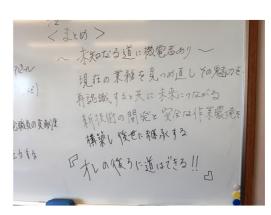
3班 白板撮影





4班 白板撮影





5班 白板撮影

⑤講演会





⑥成果発表•質疑応答









⑦講評







⑧閉会挨拶(幹事長)



⑨懇親会











者意見交換会」を開いた ターで第19回「機電技術 | に~」をテーマに5班に 都渋谷区の国立オリンピ | 今何を頑張りますか〜魅 は8、9の2日間、東京 なたは機電技術者として ック記念青少年総合セン **二写真**。JCMA建設業 (JCMA、辻靖三会長) | 術者23人) が参加。「あ 機電技術者 日本建設機械施工協会 | 23社(20~40代の機電技 役割と重要性再認識 JCMA 23人集め意見交換会 後に発表を行った。 力ある建設業にするため 分かれて議論を深め、最

部会の会員53社のうち、

建設会社は土木と建築

は他にないという。

19回目の今回は、参加一成ロテック▽大豊建設▽

|始めた。土木、海洋土木、 |▽オリエンタル白石▽S 根を越えて交流する機会 建築、道路など分野の垣 997年に意見交換会を 流・育成を目的として1 そこでJCMA建設業部 会では、機電技術者の交 備の管理・開発などを担 う機電技術者は少ない。 の社員が多く、機械や設 た」「同じ悩みを持つ仲

サマ▽大林組▽大林道路 島〉鹿島道路〉鴻池組▽ MCテックマ奥村組マ鹿 五洋建設▽清水建設▽ た特別講演も行われた。 HALの開発」(サイバ 設)、「ロボットスーツ 事業について」(清水建 は、「陸前高田震災復興 ーダイン)をテーマにし 多く上がった。 2日目に 間がいる」などの感想が 参加企業は、▽安藤ハ

役割、重要性を再認識し 者からは「機電技術者の 悩み事などについて活発 に意見を交わした。参加 れ、業務内容や技術開発、 した23人が5班に分か 前田道路マフジターの23 国土開発▽NIPPO▽ ▽鉄建▽西松建設▽日本 業▽東急建設▽東洋建設 竹中工務店▽東亜建設丁

10月13日 日刊建設工業新聞

路といった分野 は、土木や海洋 土木、建築、道 た今回、23社か した意見交換会 97年から開始

する建設業部会(鈴木嘉 で、建設会社5社で構成 昌昭会長)は8、9日に TOMA、社構三会長) 日本建設機械施工協会 ||写真。

東京・渋谷区の国立オリ 術者意見交換会を開いた センターで第19回機電技 ンピック記念青少年総合

交流する数少な の垣根を超越し い場となってい て機電技術者が 19回目を迎え 前高田震災復興事業につ

見が寄せられた。

また、最終日では「陸

ⅠPPO▽前田道路▽フ 建設▽日本国土開発▽N

分かれ、「あなたは機電 どについて意見交換。参 ら20~40歳前後の機電技 を再認識した」などの意 ーマに議論。業務内容に の日程で参加者は5班に 術者23人が参加。2日間 電技術者の役割、重要性 持つ仲間がいる」や「機 加者からは「同じ悩みを 関する悩みや技術開発な 業にするために~」をテ りますか~魅力ある建設 技術者として今何を頑張 東亜建設工業▽東急建設 ▽東洋建設▽鉄建▽西松 大豊建設▽竹中工務店▽ 奥村組〉鹿島〉鹿島道路 ル白石マSMCテックマ ▽鴻地組▽五洋建設▽清 ▽大林道路▽オリエンタ 水建設▽大成ロテック▽ ▽安藤ハザマ▽大林組 参加した23社は次の通

互いの悩み打ち明け交流 J C M A 建設業部会

がそれぞれ特別講演を行 ツHALの開発」につい 課長が、「ロボットスー 龍介清水建設陸前高田市 いて」をテーマに小野澤 震災復興事業作業所機電 し前川幸士サイバーダイ 営業部門マネージャー

日刊建設産業新聞 10月13日

機電技術者の重要性共有

→0≥< 若手、中堅が意見交換

力ある建設業にするために一意気込みで仕事していきた。 ~」をテーマに、少数派やえ の悩みや認知度向上に向けた 取り組み、人材育成のあり方 などについて意見交換し、現 場の第一線で活躍する機管技 術者の重要性を共有した。

意見交換会は若手から中堅 クラスの機電技術者の交流を 目的に1997年にスター ト。今回は部会会員的社のう ち3社から、3代から4歳前 後の技術者
沈人と
関係者が参 加した。

参加した技術者は5グルー プに分かれてテーマに沿って 討議し、20日目にグループご



日本建設機械施工協会(リーとの討議成果を発表した。参 UZA、辻靖三会長)の建設。加者からは「ほかの技術者も 業部会(鈴木栗昌部会長)は自分と同じ悩みを抱えている。の(昭音)。 8、9の両日、東京都渋谷区 ことを実際した」「機電の仕 の国立オリンピック記念背少 事を今の学生にアピールして 電技術者意見交換会を開い 現場に持ち帰って実行した。成ロテックワ大量建設VFB工務 た。「あなたは機電技術者と」
い」「もっとボジティブに触」
店で東亜建設工業
で東急建設
で東 して今何を頑張りますかく駐。電が現場を回しているという は対象で図りでは対象をでは対象をである。

い」などの意見が出された。 2日目には、清水建設の小 野澤龍介氏が「陸前高田震災 復興事業について」、サイバ ータインの前川幸士氏が「ロ ボットスーツ日ALの開発」 をテーマにそれぞれ、特別諸官 2tho

ICT(情報通信技術)や ロボット技術などの現場導人 が増大し、先端技術の各分野 に精通した機電技術者が活躍 する場面も増えている。」こ NA建設業部会では、 建設業 への武業者数の減少が危惧さ れている中、将来の建設技術 を担う機電技術者の交流や教 育に力を入れており、若手中 心の現場見学会も年2回程度 用いている。

意見交換会出席企業は次のとお

ワ安藤ハザマワ大林組ワ大林道 路マオリエンタル自石マるMSテ ックワ奥村組▽鹿島▽鹿島道路▽ 洋建設マ鉄建マ西松建設V日本国

10月13日 日刊建設通信新聞